

令和4年度 議会報告会意見等一覧（総務常任委員会所管分）

アンケートによる意見等についての調査結果

No.	所管課	要件	意見・要望・質問	調査結果
1	総務課	自治会	自治会の負担軽減を求める。例えば、広報や回覧板は配布したり回すのが大きな負担になっている。広報や回覧板は業者に任せるなどの対策をしていただきたい。このような負担を嫌い自治会を退会する人や役員が決まらないこともある。	広報誌等の配布物は、市民への周知が主な目的である。自治会が多くの配布物等に負担を感じている事を受入れ、市民からの多くの意見を確認するとともに、現状に則したよりよい配布方法を検討し、世代を超えて価値観を共有できるような取り組みを開始するよう市行政に働きかける。
2	交通政策課	コミュニティバス	バスはいつもほとんど人が乗っておらずガラガラであるが、せめて車外広告でバスの運行費用を稼ぐ努力をするべきだと思う。 バスの横や後ろに何も無い状態で走らせるのはもったいないと思う。	コミュニティバス運行に係る広告収入として、車内広告、停留所名称、時刻表等の印刷物への広告募集を行っている。運賃以外の収入の必要性を認識し、車外広告についても募集するよう市行政に働きかける。
3	交通政策課	コミュニティバス	コミュニティバスはどこまでもだれでも100円ですが、安すぎではないか？ 三豊市民以外や三豊市の停留所以外の場所の乗降は値上げをするべきだと思う。また、山本線の琴平から三豊総合病院まで乗り続ける人がいる。これはJRとも競合しており民業圧迫だと思う。	コミュニティバスは、高齢者や学生などいわゆる移動困難者の移動手段であったり、外出機会の創出を図る福祉的側面等から、地域住民の移動の確保が目的である。また、地域公共交通にとって欠かせないものであり、市民の足として「行きたいときに行きたいところへ」という利便性を持つ。そして、本市のコミュニティバス事業は、国から特別交付税が措置され、市負担は大きく軽減されていることから、利用料金は現状を維持し、路線等を調整しながら、市民の利便性の確保を行うべきと考える。 なお、コミュニティバスは、鉄道と互いに補完し合う関係であるため、JR四国の事業との競合はないものと考えている。
4	—	—	仁尾サンビーチは何年も前に閉鎖している。しかし、道路の歩道の植え込みにある看板はそのままである。撤去すべきだと思う。	市の関係部局を通じて県道の所管先へ連絡するよう働きかける。
5	総務課	自治会	ゴミを自治会に入っていないとだせないのは不満である。そもそも自治会は任意だから加入する義務はなく、自治会に加入してなくても市民として税金は納めているのだから、同じサービスを受けられないのは不満であった。 自治会に入らなかった理由は、無駄な行事をしたくなかったことや役員にもなりたくなかったこと、なによりも、自治会費に問題があったからである。 自治会費には赤い羽根共同募金や社会福祉協議会費が自治会費に含まれていた。これは思想信条の自由に反するとして最高裁で自治会費に含まれるのは無効だと判決も出ています。 このような自治会には絶対に入りたくない。私は、このような三豊市から出て、たいへん満足しています。三豊市は観光にはいい町ですが、住みたい町ではない。 自治会についてなんとかしてもらわないと、これからも私のように三豊市から出て行く人が増えるのではないか。	自治会組織への加入に義務はないが、災害時の減災活動、地域の防犯力の向上をはじめ、自治会活動を通じた地域コミュニティ力の向上など、地域活性化を目的として、市では自治会加入の促進に取り組んでいる。自治会未加入者の家庭ごみについては、旧町単位で市指定場所に持ち込むことになっているため、自治会未加入を理由に行政サービスが受けられない状況にはない。 自治会費やそれに含まれる赤い羽根共同募金は、各自自治会の総会で決定されるものであるが、募金は強制されるものではないため、市の関係部局を通じて社会福祉協議会にご意見を伝えるよう働きかけます。
6	危機管理課	防災行政無線	防災無線はうるさい。特に赤ちゃんがいる子育て世代にとってうるさい。役に立たない情報ばかり。特に告別式の放送は気分も悪くなるし不要。 避難指示などの災害に絞った情報を放送するだけでいい。	防災無線は、災害等の緊急時に避難情報等を周知するものであり、平常時は主に市民へのお知らせを放送している。遺族から要望に基づいて実施している告別式の放送については、様々な受け止め方があると思うが、今後の市民ニーズを見極めつつ、放送の在り方や内容について検討していく。
7	交通政策課	コミュニティバス	聞いたところ、コミュニティバスの音声は人が収録しているらしいが、機械に変えたほうが安いのでは？コミュニティバスは必要だと思うが、コストは減らしてほしい。	コミュニティバスに関係する費用について、最小の費用で最大の効果が発揮できるよう市の関係部局に働きかける。

Zoom議会報告会参加者からの意見等についての調査結果

No.	所管課	要件	意見・要望・質問	調査結果
1	交通政策課	コミュニティバス	【コミュニティバス運行について】 土曜日とか平日でも父母ヶ浜のバス停には相当な行列ができていて、日曜日コミュニティバスを運行できないか。	コミュニティバスは、地域住民（高齢者や学生等）の移動の確保が目的であり、日曜日は平日ほどの利用が見込めない状況にある。また、父母ヶ浜周辺では民間事業者による交通サービスが展開されているため、父母ヶ浜バス停を含む路線の日曜運行は現在のところ実施していない。
2	地域戦略課	SDGs	【SDGs推進都市について】 SDGs推進都市、三豊市がそれになっているとお聞きしているのですが、今どのようなことを具体的にされているのか。 また、SDGsは総務常任委員会、あと環境や気候変動のことは市民建設常任委員会ということで、部局が分かれているが、これは連携してやっていくべきではないのか。	三豊市は、令和2年7月にSDGs未来都市に選定され、少子高齢化や人口減少の中において市民が豊かさを実感できるまちを目指してSDGs未来都市計画を策定している。計画では、三豊市の将来のあるべき姿の実現に向けて、社会・経済・環境への取組を推進している。 現在は、企業や団体から「みとよSDGs推進パートナー」を募集し、普及推進に取り組んでいる。 SDGsは、行政の取り組みだけで目標が達成されるものではないため、企業や団体、市民一人ひとりに至るまで理解と協力が必要不可欠となる。また、取組内容も多岐にわたることから、行政は部局間で連携をとることも必要となる。議会としては、市の関係部局が相互に連携して取り組みが進められているか、その成果を確認しながら監視をしていく。